

1 事業名

平成27年度教育事業 「体験の風をおこそう」運動協賛事業
「テンパークちゃれんじくらぶ」 ～ドキドキ わくわく 秋～

2 趣 旨（事業の目的）

自然体験をとおして、自然を大切にする心、豊かな感性や思いやりの心を育むとともに、ボランティア高校生・大学生また参加者同士の交流をとおして、コミュニケーションの力を育む。

3 期 日 平成27年9月12日（土）～13日（日）

4 参加者 65名（盛岡市，滝沢市，雫石町の小学生，3～6年生）

5 後 援 盛岡市教育委員会，滝沢市教育委員会，八幡平市教育委員会，雫石町教育委員会

6 内 容

(1) 日程

日 時	13:00 13:30 13:50			15:00	17:30 18:30			20:00 21:00 21:30			
9/12 (土)		参加者受付	はじめの会	きらきらの秋① みんなで楽しもう!	もぐもぐの秋 みんなでクッキング!	夕食	きらきらの秋② みんなで火をかこもう!	入浴	就寝準備	就寝	
日 時	6:30	7:00	7:30	9:00	12:00	13:00	14:00	14:30			
9/13 (日)	起床	洗面	つどい	朝点・食検	ぺたぺたの秋 みんなでクラフトにチャレンジ!	昼食	片づけ	終わりの会	解散		

(2) 指導者

国立岩手山青少年交流の家	企画指導専門職	鎌田 信 浩
	副主任企画指導専門職	中田 春 輝
	事業推進係	及川 未希生
	事業推進係	高橋 知 也
指導補助	法人ボランティア	13名

(3) 企画のポイント

今年度は、秋をテーマにした活動を企画立案した。企画立案に際して、法人ボランティア向けの事業「ボランティア・ブラッシュアップ・プロジェクト」において、約3週間前と1週間前の2回にわたり企画会議，事前準備を行った。参加した小学生が、楽しく2日間を過ごせるように、体験活動支援セミナーに参加している高校生や大学生を、グループリーダーとして配置し、高校生や大学生とのふれあいや体験活動をとおして、友達作りや班で協力することの大切さを学ぶことのできる機会を提供した。

今回は、それぞれの活動において秋を満喫できるような工夫を行った。「きらきらの秋」では、体を動かす活動を中心としたスポーツの秋、夜はキャンプファイヤーの時に、月や星についての話をし、お月見を意識させた。「もぐもぐの秋」では、郷土料理のひつつみと炊き込みご飯、焼き芋を各班で協力して調理し、食欲の秋を楽しんだ。「ぺたぺたの秋」では、木材を使ったクラフトに挑戦し、芸術の秋に取り組んだ。どの活動も季節を感じながら、班ごとのコミュニケーションが深まるように、先輩法人ボランティアがプログラムを構成した。

(4) 広報のポイント

年度当初から、当施設ホームページに事業日程を掲載してきた。また、盛岡市、滝沢市、八幡平市、雫石町の教育委員会教育長、盛岡市、滝沢市、八幡平市、雫石町の各小学校と報道機関へ開催要項とチラシを送付した。

(5) 運営のポイント

体験活動支援セミナーの参加者を2～3名ずつ、小学生7～8人の9グループのグループリーダーとして位置づけて、小学生の参加者が不安を抱くことがないように、あたたかく迎え入れるようにした。また、班が早く仲良くまとまるようにグループリーダーが率先して話しかけ、班のコミュニケーションを深めることで、参加者がより楽しく活動ができるように配慮した。

また、階層型組織キャンプを構成し、本部ミーティング、スタッフミーティング、映像撮影ミーティング、統括リーダーミーティングなど役割を明確にした、質の高い組織運営体制を敷くことで、安全に留意したプログラム展開を実践することができた。
(補足資料1を参照)

7 成果とその普及

テンパークちゃれんじくらぶは、以前も参加して楽しかったので、今回も是非参加したいという参加者が約半数を占め、人気の高い期待されている事業となっている。

参加者のアンケートから「友達がいっぱいできて楽しかったので、また来たい。」「初めは緊張していたけれど、お兄さんやお姉さんが優しくて安心した。たくさん友達ができた。」「みんなで助け合いながら活動できた。大切な思い出として心に焼き付けておきたい。」「みんなでつくったご飯を、みんなで食べてすごくおいしかった。」などの感想がよせられた。一つ一つの活動も楽しいが、他の学校の参加者や、高校生や大学生のボランティアのお兄さんやお姉さんとのコミュニケーションが楽しい要因のようだ。今の子供たちに欠けているといわれるコミュニケーション能力の向上にもつながった。1泊2日という短い期間ではあるが、十分に満足できる活動を提供できたものとする。

8 今後の課題

子供たちの中には、はじめは不安や緊張を感じていたところもあったが、各グループのカウンセラーや仲間とかかわる中でうちとけ、仲良く活動を楽しむ姿が見られた。こうした体験の広がりとして、2日間と短い期間ではあるが、カウンセラーや子供たちがグループで工夫をして活動できる時間を設定できれば、さらにコミュニケーション能力の向上につながると感じた。

一方で、法人ボランティアが企画立案するに当たり、子供達の手元に届く広報チラシの内容が、抽象的な内容にせざるを得ない状況となり、リピーター中心の集客となっている。この点に関しては、企画立案のタイミングを早め、子供を集客できるメインの体

験プログラムを広報チラシに盛り込めるようにしていく必要があり、次回へ向けた課題であるといえる。



もぐもぐの秋（野外炊事）



きらきらの秋（キャンプファイヤー）



ぺたぺたの秋（クラフト）

補足資料1 テンパークちゃれんじくらぶ及び体験活動支援セミナー 組織図

